

7. 広報活動

本機構では、学生への授業や社会人共創教育プログラムなどを通じた教育を行うのみでなく、DS・AIセミナーやオープンキャンパス説明会など、より開かれたイベントも開催し、1人でも多くの方々に、データサイエンス・AIに興味を持ってもらう取り組みを行っています。

7.1. 第4回DS・AIセミナー「AIは鉄道ダイヤを作れるか？ - その難しさと研究開発の現状」

2025年8月27日(水)13:30~14:30、第4回DS・AIセミナー「AIは鉄道ダイヤを作れるか？ - その難しさと研究開発の現状」を、オンライン(Zoom)にて開催しました。

データサイエンス・AI全学教育機構の富井規雄特任教授が、世界一正確といわれる日本の鉄道について、その列車ダイヤには、いかに複雑な背景があり、多様な事情を考慮して作成されているか、そして、この分野にAIを活用できる可能性などについて、最新の研究動向、海外の事情に触れながら、様々なエピソードを交えて、わかりやすく解説しました。

本セミナーは、東京科学大学の学生、教職員にとどまらず、大変多くの企業からも参加をいただき、参加者は319名に上りました。



参加者の声

- ・ 普段何気なく使っている電車の裏側に、見えない苦労や研究がされた上で、現在の仕組みが成り立ってきたのだと驚かされた。人間がコンピュータ・機械をサポートする時代になるという展開が実に興味深かった。AIにどこまで代替をさせ、逆に人間がどこまで仕事をやり続けるのかというのは今後も議論になるだろうと思った。
- ・ AIを活用することに関して、人間との能力の差、方向性の違いを考えるだけでなく、人間と今までの知恵の積み重ねとの協力関係として考えることができ、今まで人の力で積み上げてきたからこそAIの活用方法は今後さらに広がるのではないかと思います。

7.2. 第5回DS・AIセミナー「AIと自動実験ロボットで科学研究を加速する」

2025年11月7日(金)お昼休みの時間に、大岡山キャンパスTaki Plaza地下2階イベントスペースにて、第5回DS・AIセミナー「AIと自動実験ロボットで科学研究を加速する」を開催しました。

東京科学大学総合研究院難治疾患研究所の吉川成輝助教が、AIと実験用ロボットを組み合わせる研究を自動化するself-driving laboratory (SDL) について、講演を行いました。理工学系・医歯学系の学士課程から博士後期課程までの学生、また他大学生や企業の方からも多くの関心を集め、現地参加31名、Zoomウェビナーでのオンライン参加88名に上りました。

質疑応答では、沢山の質問が上がり、セミナー本会終了後にも、吉川助教に直接話を聞きに行くなど、大変盛り上がった雰囲気となりました。



参加者の声

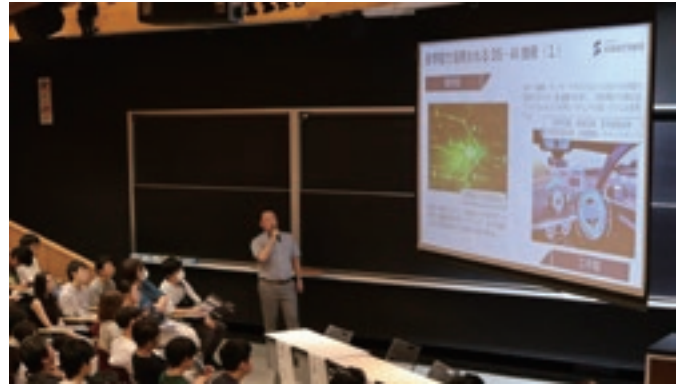
- ・ AIとの融合によるロボット制御の最新の状況を理解できた。
- ・ 実験の自動化システムが理解できる言語と人間の自然言語の間を橋渡しする言語の話にとっても興味を持ちました。

7.3. 高校生・受験生のための東京科学大学理工学系 オープンキャンパス2025

2025年8月6日(水)、「高校生・受験生のための東京科学大学理工学系 オープンキャンパス2025」が、東京科学大学 大岡山キャンパスにて、開催されました。

本機構は、西講義棟1のレクチャーシアターにて、説明会「『DS&AI for ALL』きみと人工知能のつながり」を実施し、約200名の高校生、保護者の方々が参加をされました。

説明会は、富井規雄特任教授の司会で始まりました。前半の20分は、奥村圭司特任教授が、各学院において、どのようにDS・AIが活用されているか紹介し、全学院から学ぶことができる本機構の教育プログラムと授業の概要について説明を行いました。



後半の20分は、小野功機構長、柳澤溪甫助教、奥村圭司特任教授が登壇し、質疑応答を実施しました。「高校の情報の授業の役割について、どのように考えていますか。高校での学びは、大学に進学したときに、どのように生かされますか」「現在のAIに関する課題について教えてください」「幼い頃からAIを使う環境である現代において、リテラシーの体系的構築について、どのように考えますか」など、DS・AIへの関心の高さがうかがえる意欲的な質問が沢山寄せられ、登壇した教員は、ひとつひとつ丁寧に回答しました。説明会終了後にも、質問しきれなかった参加者の方々が残り、教員に直接質問をする等、最後まで大盛況のイベントとなりました。

参加者の声

- ・ 本日は説明会ありがとうございました。情報リテラシーがとても大切だということは知っていたので興味を持って説明会に参加しました。東京科学大学では基礎から応用まで丁寧に授業をしているということでより興味を持つことができました。
- ・ 東京科学大では全学部向けにデータサイエンスとAI技術のスキルの習得が出来る人材を育成するプログラムがあるという事を聞き、情報理工学院に限らない点で少し驚いた。しかし、データサイエンスとAIのスキルを持った人材の育成が強く求められる現代社会を鑑みると妥当であり、本プログラムはそのような社会からのニーズに応えているためとても良いと思った。
- ・ この大学でDS・AIをどこまで、どのように学んでいくのか疑問に思っていたため、基本的な学習の流れを詳しく知ることができ安心した。
- ・ 質問にも丁寧に回答していただきとても参考になりました。
- ・ 研究で実践的に使えるデータサイエンス技術を学べるようにしているというところが、情報技術を学んでいない人の機会損失を減らす上で、とても重要だと共感します。
- ・ ほかの参加者の方がしっかりしていて良い刺激になった。



7.4. その他広報活動

本機構のプログラムや活動について、ウェブサイトやパンフレット、各種チラシ等を通じて、学内外にも広く情報を発信しています。ウェブサイトは、PCやスマートフォンなど、様々な端末からのアクセスを考慮したレスポンスデザインとなっており、日英併記で表記しています。プログラムの紹介、イベントの告知や実施報告、授業配信、大学間連携や企業連携に関する情報の他、DS・AIへの興味や理解を深めてもらうためのインタビュー企画ページを作成しています。



プログラム履修案内2025(英語版)



TA募集チラシ



本機構ウェブサイト(インタビュー企画)



「Aldiver(エーアイダイバー)」の動画記事



社会人共創教育プログラム 日刊工業新聞記事



TF育成プログラム修了生による講義の実施 日刊工業新聞記事